



## トラブルシューティング

---

- [トラブルシューティング \(1 ページ\)](#)
- [HXCSI ポッドの展開時の ImagePullBackOff ステータスエラー \(1 ページ\)](#)
- [ボリューム削除の失敗 \(2 ページ\)](#)
- [ノード削除中の ContainerCreating 状態のアプリケーション ポッド \(2 ページ\)](#)
- [削除されたポッドが同じノードに戻るようにスケジュールされている \(3 ページ\)](#)

## トラブルシューティング

次のセクションでは、HyperFlex CSI 統合をインストールして使用するときに見られる一般的な問題について説明します。提供される情報には、問題の診断に役立つ症状と、問題を解決するための解決策が含まれています。

## HXCSI ポッドの展開時の ImagePullBackOff ステータスエラー

- **症状 1** : コマンド「`kubectl get pods [-n <namespace>]`」を実行すると、HXCSI ポッドのステータスが「ImagePullBackOff」であると表示されます。
- **症状 2** : コマンド「`kubectl description pod`」の実行<csi-pod\_name>」には、「Error : ErrImagePull」および「Back-off pulling image...」というエラーを含むメッセージが表示されます。

### 解決方法 :

- **解決策 1** : `hxcsi-setup` スクリプトに指定された HXCSI コンテナイメージ名が正しいことを確認します。
- **解決策 2** : HXCSI コンテナイメージが、各 Kubernetes ワーカーノードの Docker 内に直接存在するか、またはローカルコンテナイメージレジストリに存在することを確認します。

- **解決策 3** : `hxcsi-setup` スクリプトによって生成される次の YAML ファイルの「`imagePullPolicy`」行が「`IfNotPresent`」に設定されていることを確認します。  
`csi-attacher-hxcsi.yaml`、`csi-nodeplugin-hxcsi.yaml`、`csi-provisioner-hxcsi .yaml`
- **解決策 4** : 次のイメージが各 Kubernetes ノードのローカル コンテナ イメージ レジストリにロードされていることを確認します。`csi-attacher-3.0.2-cisco1.tar`、`csi-node-driver-registrar-2.0.1-cisco1.tar`、`csi-resizer-1.0.1-cisco1.tar`、`csi-provisioner-2.0.4-cisco1.tar`

## ボリューム削除の失敗

`NodeUnpublish` が成功し、ボリュームがマウント解除された後でも、古いボリューム接続が存在するため、ボリュームの削除は失敗します。これは、`etcd` リーダーの選択中に `delete volumeattachment kubernetes api` が失われた場合に発生します。`nodeUnpublish` が完了し、ボリュームがノードから正常にアンマウントされた後でも、ボリュームの削除は失敗します。

`external-provisioner` のログは次のように表示されます。

ボリュームの削除に失敗しました : `persistentvolume <pv-name>` はまだノード `<node-name>` に接続されています。

`external-attacher` のログは次のように表示されます。

`<Volume-attachment>` はすでに接続されています。

### 解決方法 :

次のコマンドを使用して、古いボリューム接続を削除します。

```
kubect1 delete volumeattachments <VA-name>
```

プロビジョニング担当者が再試行すると、数秒後に `pv` が削除されます。

または、次のコマンドを使用して手動で削除することもできます。

```
kubect1 delete pv <pv-name>
```

## ノード削除中の **ContainerCreating** 状態のアプリケーションポッド

ノード削除中の `ContainerCreating` 状態のアプリケーションポッドまたはまたはマルチアタッチエラー状態でスタックし、ボリュームをマウントできません。これは、クラスタから `k8s` ワーカー ノードを削除または削除するときが発生することがあり、ポッドは新しいワーカーノードに移行します。

`K8` ワーカー ノードを削除する推奨方法は、次のコマンドを使用することです。

```
kubect1 drain <node-name>
kubect1 delete node <node-name>
```

詳細については、「[Kubernetes からノードを正常に削除するには \(How to gracefully remove a node from Kubernetes?\)](#)」を参照してください。

## 削除されたポッドが同じノードに戻るようスケジュールされている

実行中 (**Running**) 状態のポッドが `kubectl delete pod` コマンドを使用して削除された後に再作成され、名前空間を削除すると、終了中 (**Terminating**) 状態でスタックしました。

実行中のポッドで `kubectl delete pod` コマンドを使用する代わりに、次のベストプラクティスの方法が推奨されます。

1. 削除するポッドが実行されているノード名をメモします。

```
kubectl get pods -o wide --all-namespaces
```

2. ポッドが実行されているノードのコードンをオフにします。

```
kubectl cordon <node-name>
```

3. ポッドを削除します。

```
kubectl delete pod <pod-name>
```

4. 削除されたポッドが別のノードでスケジュールされていることを次を使用して確認します。

```
kubectl get pods -o wide --all-namespaces
```

5. ノードのコードンを外します。

```
kubectl uncordon <node-name>
```

削除されたポッドが同じノードに戻るようスケジュールされている

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。